



おはなし会プログラム ~その13~

大阪府立中央図書館 こども資料室



令和5(2023)年1月~12月までの期間に、当館で行ったおはなし会のうち、子どもたちが特に楽しんでくれたプログラムをご紹介します。



開催日 令和5年1月初旬
対象者 不特定多数
テーマ お正月

てあそび「ことしもどうぞよろしくね」

絵本『おもちのきもち』

かがくいひろし/作・絵 講談社 2005.12

ストーリーテリング「干支のはじまり」

『子どもに語る日本の昔話3』

稲田和子・筒井悦子/著 こぐま社 1996.8

パネルシアター「ねずみのすもう」

絵本『うさぎはやっぱり』

五味太郎/作 クレヨンハウス 2006.12

絵本『なにをかこうかな』

マーグレット・レイ、H・Aレイ/作 中川健蔵/訳

文化出版局 1984.9

てあそび「さよならあんころもち」

冬休みイベントの一環として実施。始まりには、定番から変更してお正月らしさのある手遊びを取り入れたところ、参加者は積極的に真似をしてくれた。

絵本『なにをかこうかな』では、読み手が、登場人物のペープサートを動かしつつ、ストーリーに沿ってホワイトボードに実際に絵を描いていった。リアルタイムで出来上がっていく絵を集中して見ていた。

開催日 令和5年7月初旬

対象者 支援学校高等部

テーマ 食べ物・夏

てあそび「はじまるよ」

大型絵本『れいぞうこ』

新井洋行/作・絵 偕成社 2015.10

ペープサート「食べ物当てよう！」

絵本『ひとくちぱくり』

木曾秀夫/さく・え 文溪堂 1992.7

パネルシアター「ふしぎなポケット」

絵本『なつのいちにち』

はたこうしろう/作 偕成社 2004.7

てあそび「さよならあんころもち」

参加する生徒に身近で理解しやすいことをめざしたプログラム。パネルシアター「ふしぎなポケット」では、ビスクケットの外、季節に合わせてカブトムシ・花火のパネルを新たに作成。次に何が出るのかと楽しんでおり、ポケットに入れるパネルさえ作成すれば、季節や対象を問わず応用が利くと感じた

開催日 令和5年11月初旬

対象者 小学3年生

テーマ ○○○い話

絵本『へびながすぎる』

ふくながじゅんぺい/作 こぐま社 2022.5

大型絵本『100かいだてのいえ』

いわいとしお/[作] 偕成社 2009.11

絵本『はつきよいどーん』

やまもとななこ/作 講談社 2015.9

エプロンシアター「おおきなかぶ」

ストーリーテリング「くらーいくらーい家」

『語ってあげてよ!子どもたちに:お話の語り方ガイドブック』 マーグレット・リード・マクドナルド/著

佐藤涼子/訳 編書房 2002.6

「長い」「高い」「暗い」といった形容詞をテーマにした一風変わったプログラム。読み始める前から、どのような話が予想する声があがるなど盛り上がり、驚く場面のある話が多くて飽きさせないプログラムになった。